



写真:ヒグラシの羽化 (撮影:平成22年6月30日えびの高原)

「ヒグラシ」

えびの高原では、セミの声の移り変わりに、巡る季節を感じるすることができます。

夏を迎え、青空と木々の緑が目には鮮やかです。えびの高原は盛夏でも涼しく、快適に過ごすことができます。お弁当を広げたり木陰で昼寝をしたり、暑さを忘れてくつろいでいる人々の姿が見られます。

「カナカナカナ」とヒグラシの声が涼感を添えています。朝方や日暮れに鳴くイメージのあるヒグラシですが、えびの高原では一日中鳴いています。鳴くのはオスのセミだけ。オスのお腹は大きく、共鳴室になっていて透けてみえます。メスのお腹はオスより小さく、産卵管を持っています。

捕食者の少ない夜に羽化すると言われていますが、小雨が降る薄暗い日などは昼間でも、草むらで幼虫が羽化する神秘的な瞬間に出会うこともあります。

えびの高原では春、5月ごろにハルゼミが鳴き始め、少し遅れてエゾハルゼミが鳴きます。夏が来るころにはヒグラシ、やがてツクツクボウシの声が聞こえ始めます。アブラゼミやクマゼミは少ないようです。セミの声の移り変わりにめぐる季節を感じます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ヒグラシ
Tanna japonensis

セミ科ヒグラシ属